

令和4年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	認定特定非営利活動法人フリースペースたまりば		
団体の属性	<input type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等		<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアグループ等
	<input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	食から始まる多様な福祉ニーズへの支援事業		
事業の目的	<u>当法人は地域で居場所を見出しにくい子ども若者とその家族の居場所づくりを目的とした団体ではあるが、食支援事業で出会った40代以上の中高年者のうち、当法人の「対象外」と断ることのできない、深刻な状況を抱える方々への食支援と相談支援事業を提供し、困難を抱える住民と共に生きる地域づくりに取り組むことを目的に本事業を実施した。</u>		
事業概要	<p>常設フードパントリーを備えたコミュニティスペースえんくるにおいて、食支援とそこ中でキャッチしたSOSをもとに相談支援事業を行なった。</p> <p>事業実施時間等：週4日対象者の来所時に食支援を行なった。その中で、状況の見てきた利用者に対し、月に1回相談専門員が相談・ケースワークを行なった。さらに、地域住民と共に、学び合い、暮らしやすい地域を考える会合「川崎支え合う生活モデルを考える会」を開催した。</p> <p>食支援実績：コミュニティスペースえんくるでは令和4年度8.5tの食料を述べ2000人に支援した。状況を把握して支援している定期的な利用者は年間を通じて実人数で55名おり、うち約3割を占める16名（男性11名、女性5名）が本事業の対象者であった。</p> <p>相談実績・内容：就労や訓練等学びの機会の提供等を行なったものもいたが、利用者は高齢者・障害者が多く、公的機関等と連携して支援を行なったが、ニーズの多くが制度でカバーの難しい、あるいは制度利用では迅速に対応できない生活・家事支援や孤独・孤立等に関する相談が多い。</p>		
成果や課題	<p>生活に困難を抱え、地域で孤立する多様な人々に、食支援と相談支援を提供できたことは大きな成果だと捉えている。困窮者が食支援を活用できただけでなく、孤立する単身者が定期的に通い、ホッとできる居場所を見つけてくれたことも、大きな成果だと感じている。</p> <p>一方で、当法人の目的は子ども若者とその家族の居場所づくりであり、本事業の対象者に対して十分な規模での支援を行っていくことは体制として難しいのが現実である。今後の課題として、孤立した40代以上の困窮者を支えていくには、福祉事務所や生活困窮者自立相談支援事業、社会福祉協議会、障害福祉、高齢福祉等、本来こうした住民を支えるべきところ、そして地域全体で制度ではカバーしきれない支え合いの仕組みづくりが必要である。</p>		
今後の展望	<p>今年度、本来の当法人のミッションとしてある子ども若者とその家族への食支援とそこから始まる相談支援や居場所づくりの可能性を広げていきつつ、中高年者や障害者も含めた支え合いの地域づくりを展開していきたい。現在、月に1回開催している「川崎支え合う暮らしの仕組みづくり」の会合を、より広げ、地域づくりに取り組んでいきたい。</p>		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>パントリーの棚の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>支え合いのまちづくりワークショップの様子</p> </div> </div>		